

東宗谷農業協同組合 海外酪農視察研修 デンマーク8日間

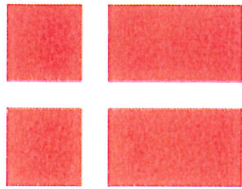
2月28日更新

日次	月日曜	発着地/滞在地名	発着時刻	交通機関	摘 要	食事
1	5月14日 (日)	道内各空港発 羽田空港着 羽田～成田近郊ホテル		航空機 リムジンバス	・旭川発： HD-84 旭川13:25発～羽田15:10着 ・帯広発： JL-572 帯広13:50発～羽田15:30着 成田空港へ移動(所要約1時間15分) シャトルバスにてホテルへ ホテル内レストランにて懇親会 【成田エクセルホテル東急 泊】	夕
2	5月15日 (月)	成田空港発 コペンハーゲン着	11:10 15:30	SK-984 専用車	ホテルシャトルバスにて成田空港(第1ターミナル)へ 空路、デンマークの首都コペンハーゲンへ (所要時間 11時間20分/時差-7時間) 到着(入国手続き)後、市内ホテルへ レストランにて夕食(徒歩圏内) 【コペンハーゲン 泊】	朝 機 機 夕
3	5月16日 (火)	コペンハーゲン発 オーフス着	09:50 10:30 午後	専用車 SK-1245 専用車	空港へ 空路、オーフス市へ 着後、昼食レストランへ 午後、酪農視察研修 ① SEGES 訪問 14:00～16:00 レストランにて夕食(徒歩圏内) 【オーフス 泊】	朝 昼 夕
4	5月17日 (水)	オーフス滞在	終日	専用車	終日、酪農視察研修 ② コントラクター 10:00～12:00 ③ 酪農家2戸訪問 レストランにて夕食(徒歩圏内) 【オーフス 泊】	朝 一 夕
5	5月18日 (木)	オーフス滞在	終日	専用車	終日、酪農視察研修 ④ アーラフーズ チーズ工場訪問 10:00～12:00 ⑤ バイキング・ジェネティクス訪問 13:15～14:15 ⑥ 市場調査(ホテル周辺) レストランにて夕食(徒歩圏内) 【オーフス 泊】	朝 一 夕
6	5月19日 (金)	オーフス発 ～ オーデンセ着 発 ～ コペンハーゲン着	07:00 ～ 10:00頃 17:00頃 19:00頃	専用車	終日、酪農視察研修 ⑦ 農業学校訪問 10:15～13:30 ⑧ 酪農家訪問 到着後、ホテルチェックイン レストランにて夕食(往復バス利用) 【コペンハーゲン 泊】	朝 一 夕
7	5月20日 (土)	コペンハーゲン発	午前 15:45	専用車 SK-983	コペンハーゲン市内見学 ニューハウ、ストロイエ、アマリエンボー城、 ゲフィオンの泉、人魚姫の像 等 昼食後、空港へ 空路、帰国の途へ (所要時間 10時間50分/時差+7時間)	朝 昼 機
8	5月21日 (日)	成田空港着 成田～羽田空港 羽田空港発 道内各空港着	09:35	リムジンバス	入国諸手続き 羽田空港へ移動(所要約1時間15分) ・旭川行き： JL-555 羽田14:00発～旭川15:35着 ・帯広行き： JL-577 羽田13:15発～帯広14:45着	機

発着日時、交通機関等は変更になる場合があります。 ※ SK=スカンジナビア航空、JL=日本航空、HD=エアドゥ

平成29年度
東京谷農業協同組合
デンマーク酪農視察研修リーフレット

1. デンマーク国



(国旗)



(国章)



概略 (Wikipedia より)

北ヨーロッパのバルト海と北海に挟まれたユトランド半島とその周辺の多くの島々からなる立憲君主制国家。北欧諸国の1つであり、北では海を挟んでスカンディナヴィア諸国、南では陸上でドイツと国境を接する。首都のコペンハーゲンにはシェラン島に位置している。自治権を有するグリーンランドとフェロー諸島と共にデンマーク王国を構成している。

立憲君主制国家

- ① 女王：マルグレーテ 2 世
- ② 首相：ラース・ロッケ・ラムスセン
- 人口 570 万人 (北海道は 540 万人)
- 面積 43000 km² (北海道は 83000 km²)
- 公用語 デンマーク語
- 首都 コペンハーゲン
- 第2都市 オーフス
- 第3都市 オーデンセ
- 通貨 デンマーククローネ (1 クローネ=15.3 円)

デンマークはユラン半島 (ユトランド半島) と 443 の島 (うち 76 が有人島) から成り立っている。中でも重要なのは古都オーデンセのあるフュン島とコペンハーゲンを擁するシェラン島。また、シェラン島の南にはファルスター島、ロラン島が、フュン島の南にはエーロ島 (英語版) などがある。多くの島が橋で結ばれていて、コペンハーゲンがあるシェラン島とスウェーデンもエーレスンド橋で繋がっている。デンマークの国土はおおむね平坦である。最高地点は 173 メートルであるが、これは青銅器時代に造営された人工的な地形である。本来の最高地点はモレホイの 171 メートル。北大西洋海流の影響で気候は穏やかで、温暖な冬と涼しい夏がある。山がないため、天候がよく変わる。降水量は少なく、年降水量は約 745 ミリ (1990 年以降の平均) で、世界平均の約 880 ミリより少ない。このため雪が降り積もることもほとんど希である。

2. 酪農視察研修先概要

1) SEGES (訪問日時：5月16日 火曜日 14:00~16:00)



デンマークの農業の情報センターと養豚業の調査機関が合併して2015年に設立された支援組織です。農業とそれに基づく食品加工分野において、様々なソリューションを導く事を目的とし、酪農家・野菜農家の潜在的な力を引き出し、環境保全及び動物福祉に立脚しながら、より利益の上がる経営方法を提案して行くために組織されました。

個々の農家の経営、税務、IT利用、人材育成、トレーニングなど全般に渡っての支援を、政府・民間企業・大学などと提携して推し進めています。従業員数は650名。その内100人余りが酪農の支援専門員となっています。

下図の組織図の様に、酪農の他、作物・養豚・馬・有機農業、そして農家の環境・経営・財務・IT・データベース管理など、SEGESの農家に対する支援分野は多岐に渡っています。勿論、酪農家の牛の全てが、耳に付けられたタグの番号で管理されており、生後日数から分娩回数、体細胞数、乳量までデータベース化されています。



SEGES 組織図

視察時は営業部のスノーリ・シガードソン氏より説明を受けます。

2) コントラクター トーセン兄弟有限会社

(訪問日時：5月17日 水曜日 10:00~11:30)

オーフス空港近郊にあるコントラクターを訪ねます。
1960年に、アントン・トーセン氏によって設立された、デンマーク国内でもコントラクターの先駆的存在の会社で、現在ユトランド半島内に三か所の拠点を構えています。現在は息子のジョージ・トーセン氏、クリスティン・トーセン氏によって共同経営され、コントラクター事業としては、耕起、播種、防除、刈り取り、貯蔵など農作業全般の業務を請け負い、ほかにもバイオマスプラント、農業機械部品の販売、また自社の発熱プラントによって400軒以上の家庭に温水を提供するなど、エネルギー事業にも取り組んでいます。従業員数は40名です。

視察にあたり、牧草の収穫を見学したいと申し入れ、先方も了承していますが、あくまでも天候次第ですので、作業が行われない場合は、会社を見学し、説明を受けることになっています。



3) Arla Foods チーズ工場 (訪問日 5月18日 木曜日 10:00~12:00)

オースに本社を持つアーラフーズはスカンジナビアで最も大きな乳製品の会社です。2000年4月にデンマークの「MD フーズ社」とスウェーデンの「アーラ社」が合併して設立されました。世界的に有名な3つのブランド、「Arla」「Lurpak」「Castero」はこの会社の製品で、他の海外ブランドとの事業協力も行っています。乳業メーカー単体としての売上高は現在世界第7位、協力企業としての売上げは世界第3位となっています。社名の「Arla」はデンマーク語で「早朝」を意味する言葉です。ここでは工場を見学しながら、会員の酪農家と日々直接的に対応している係の方から話を伺います。昼食は工場の従業員食堂でご馳走になります。



*写真は Arla Foods 本社と工場のひとつ

4) Viking Genetics (訪問日時: 5月18日 木曜日 13:15~14:15)



オースからバスで40分ほどのラナーズの町にある Viking Genetics 社を訪ねます。この会社は世界で一番大きな牛の繁殖・品種改良を行う会社で、デンマーク・スウェーデン・フィンランド三カ国の農業者団体が設立し運営を行っています。ホルスタイン種、バイキングレッド種そしてジャージー種など450個体の効果的な品種改良と試験を行っており、さらに品質試験を受けた肉牛種牛16頭の精液を出荷しています。品種改良において Viking Genetics は各分野の研究者および「ノルディック牛遺伝子評価協会」と密接な関係を保っています。デンマーク、スウェーデン、そしてフィンランドにおいて、乳牛の品種改良の目的は共通しており、生産性、健康、繁殖力、適合性、機能形質の五項目の向上を目指しています。

Viking Genetics 社では、4つの種牛飼育場に約1000頭がハイレベルなアニマルウェルフェアの下、飼育・管理されています。採取された精液に対しては、近代的な研究室の中でハイレベルな品質管理が行われており、およそ三万軒の農家が利用し、年間4百万ダースが三カ国内ほか計50カ国に輸出されています。従業員は160名です。

5) 市場調査—オーフス市内 (5月18日 木曜日 夕方)

酪農視察研修を終えてホテルに戻った後、オーフス市内にて乳製品がどのように売られているかを調査します。市内には「Salling」という名のデパートがあり、地下には食品売り場があります。また、オーフス鉄道駅の傍に Kwickly という大手のスーパーがあります。またショッピングモールなどでも乳製品が売られていますので見てみましょう。ヨーロッパでは特にチーズの種類、パッケージング、レストランでの出され方などが日本とは大きく違います。



5) Dalum 農業学校 (訪問日時: 5月19日 金曜日 10:15~13:30)

三日間滞在したオーフスからバスで2時間半ほどのフュン島にある都市オーデンセに向かい、有名な農業学校を訪問します。



この学校はデンマークで最も古くそして最も大きな農業の専門学校です。1886年に初代校長のクリスチャン・コールド氏によって設立されました。その当時の建物は現在も使用されており、デンマークの貴重な文化財となっています。



デンマークの教育システムにおいて、このDalumスクールは「職業専門学校」の位置づけとなっています。デンマークでは9~10年間の義務教育を終えると、大学へ進学するか、もしくはこうした職業専門学校へ進むか進路を自分で決めなければいけません。現在、コリンズという町にある分校では16~20歳、そしてこのオーデンセの校舎では22~25歳の学生が学んでおり、学生数は計250名です。講師25名を含めて総職員数は65名です。

Dalumスクールの教育目標は単に農業従事者を養成する事ではなく、「経営者」を作る事です。農業に関するあらゆる資格を取得できるよう多彩なカリキュラムが生まれ、農業分野での国際的な取引が出来る人材を養成しています。卒業生の約3~40%が農場経営、残りの卒業生は農業関連産業(飼料・肥料・食品・機械・電子機器・調査・金融・コンサルタント etc.)に進んで行きます。また国際的な交換留学制度もあります。



250名の学生の他に他の大学や教育機関のセミナーなどもできるよう、70名収容の会議室、600名が一堂に集う事の出来る会場設備なども整っており、幅広く利用されています。

ここでは国際提携部門の責任者でもあり、学生の講師でもあるイエスパーセン氏から話を伺い、数人の学生達とも対話する時間をもちます。

